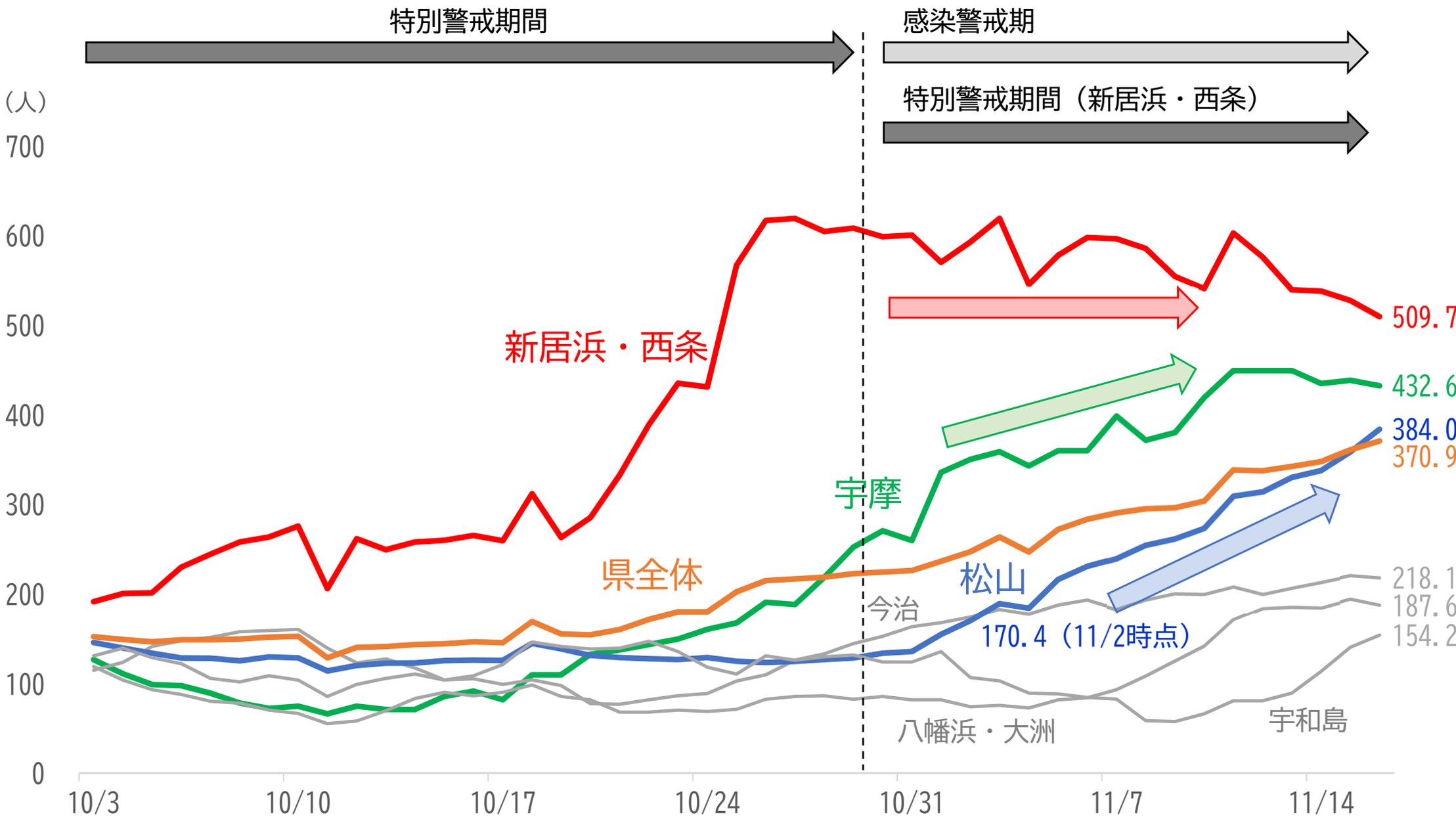


二次医療圏域別 陽性者数の推移 (人口10万人あたり1週間累計)

10/3~11/16公表

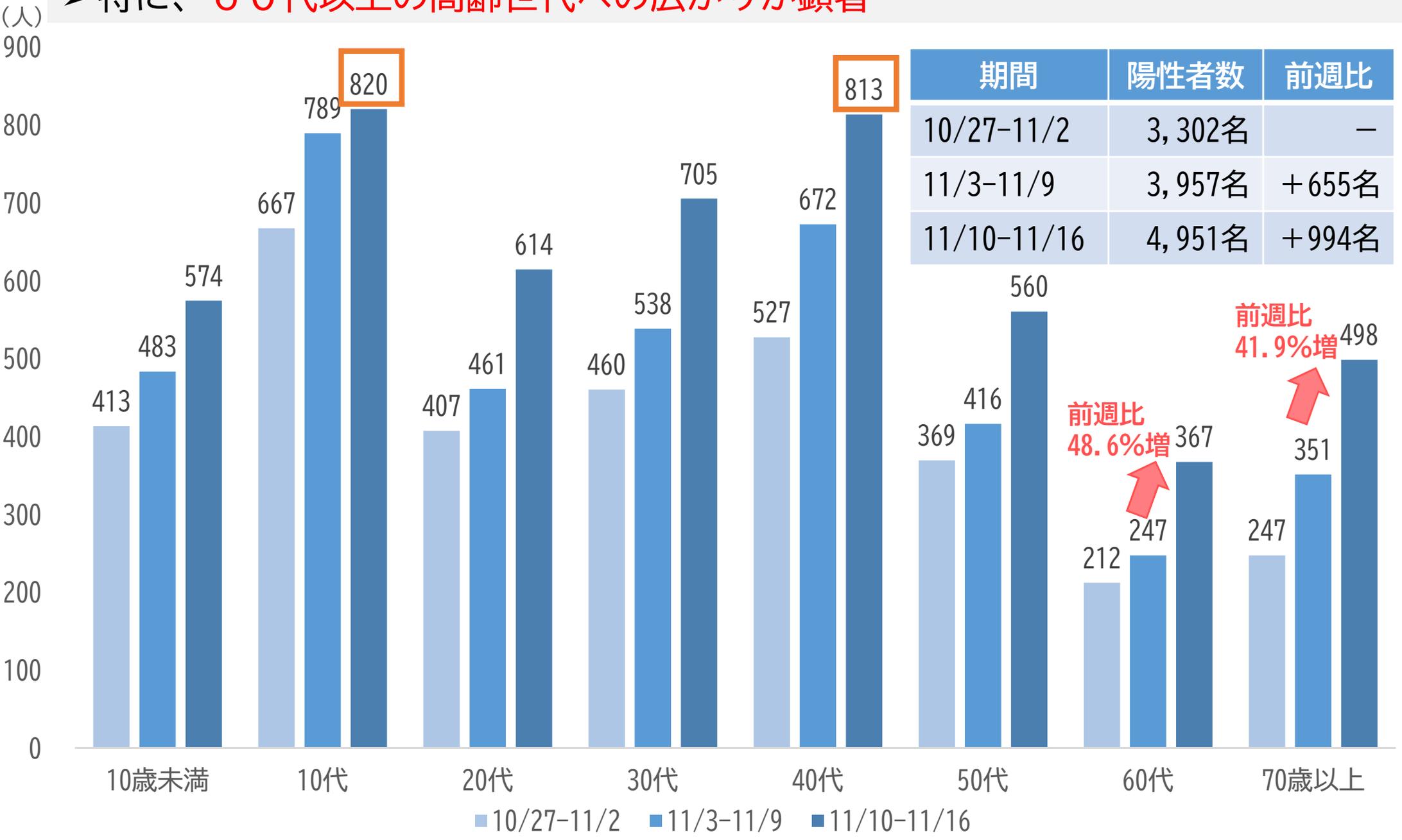
- **新居浜・西条圏域**では、県平均の約1.4倍の水準で高止まり
- **宇摩圏域**も県平均を上回る水準で推移。**松山圏域**は増加傾向が拡大



年代別陽性確認の推移（1週間比較）

10/27~11/16公表

- 10代、40代で陽性確認が多く、すべての年代で増加
- 特に、60代以上の高齢世代への広がりが顕著



入院患者数の推移

※10/15～11/16公表

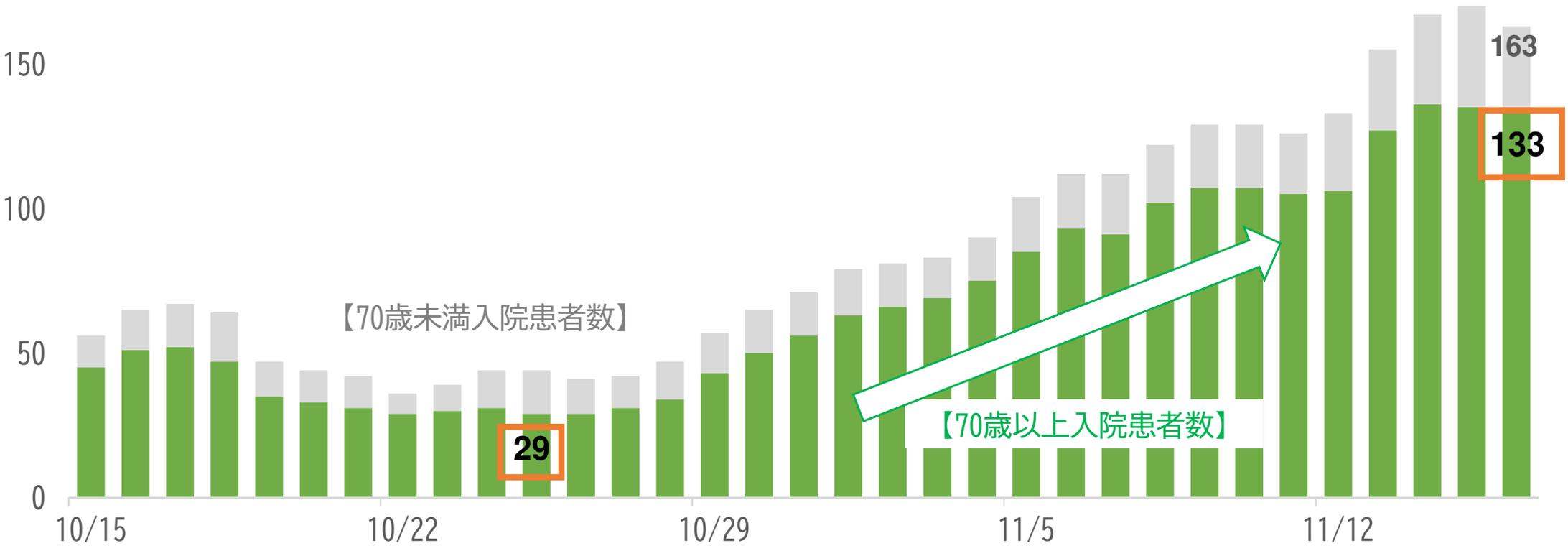
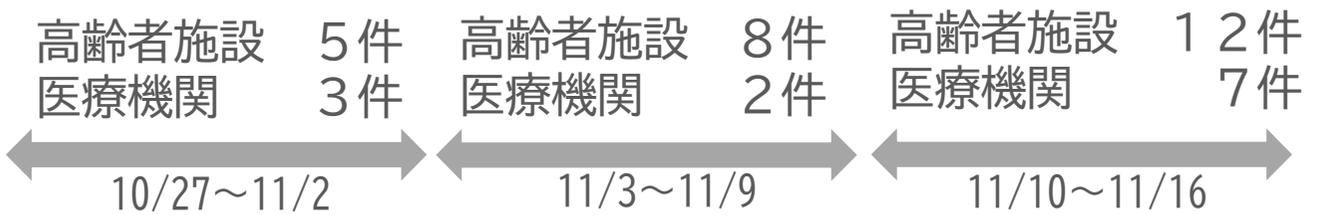
➤ 10月末以降、重点医療機関や高齢者施設で多くのクラスターが発生した影響により、**70歳以上の入院患者数が増加**

確保病床数	入院患者数	病床使用率
398床	163名	41.0%

(11/16時点)

【入院患者数（人）】

○クラスター発生状況



高齢者施設等職員への集中的検査の実施について

高い水準の感染状況が続く東予東部の3市に加え、増加傾向が顕著な松山市の高齢者施設等の職員を対象に、**集中的検査**を実施します。

実施市

新居浜市、西条市、四国中央市、松山市

対象者

高齢者施設(全施設)・障がい者施設(全施設)及び
保育所等(希望する施設)の職員

検査頻度

週2回

(当面12月末まで。感染状況により期間を延長)

スケジュール

11月15日から、各施設にキットを順次配付
準備が整い次第、検査開始

※その他の市町については、今後の感染状況に応じて、集中的検査の実施を検討